

## 下関の道路清掃

道路清掃活動／下関支部

# クリーンアップ作戦で地域をきれいに！

道路を守る月間として全国でさまざまな取り組みが行われている8月。特に10日は「道の日」が制定され、各地で大規模な道路清掃活動が実施されています。平成17年8月10日、合併したばかりの下関市でも、県土木建築事務所や下関土木協会、県市職員が参加し、道路のボランティア清掃が行われました。

この日は薄曇りで小雨がばらついていましたが、真夏にしては逆に過ごしやすい気温。下関市土木協会からは管内の全29社より総勢50数名が参加し、4班に分かれて県道下関港線、下関長門線、新下関停車場稗田線、豊浦清末線の清掃が始まりました。

交通量が多い下関市で目立つ



高架下にはたくさんのゴミが

のは、やはり車からの投げ捨てと思われるゴミです。高架下にたどり着くと、そこはまるでゴミ捨て場のようにコンビニの袋に入ったお弁当のゴミなどが散乱していました。空き缶・ビン・可燃ゴミに分別しながらの作業を進めますが、ゴミ袋はたちまちいっぱい。「自分の家の庭にこんな風にゴミを投げ捨てられたら、どんな気持ちになるかね」と、道路を守る方々の言葉が胸にズシリと響きました。また、国道191号線など大きな道路の脇にはスナックの袋や空き缶、タバコの吸い殻などが多く見られ、作業される方々は小さなものも見落とさないよう、身を縮めてゆくりと道を歩いておられました。作業は朝9時から11時まで行われ、收拾されたゴミは全部で2トン車約2台分。総量は前年と変わらないとのことですが、コンビニなどへの家庭ゴミの持ち



歩きながらの作業

込みも問題になっている昨今、少しずつでもゴミの量を減らしていくために、一人一人がモラルを持ち、自分の出したゴミに責任を持つこと、またゴミを出さない努力をすることが必要だと強く感じました。

下関土木協会の江頭事務局長さんは「会員の皆様にはボランティアでも何でも地元のことは率先して協力してもらっています。自分たちが住み、働き、お世話になっている場所でしょう。ゴミは車からのポイ捨てが特に多いようですね。自分が住んでい

る場所や家でないから、そういうことができるのだと思いますが、マナーを守ってみんなが美しい街にしていきたいです。」と話していました。

下関土木協会では、この「道の日」の活動や、下関市創立記念日である6月1日の「下関市のバースデイクリーン大作戦」への参加のほか、20年以上前から協会主催で毎月道路清掃作業を実施するなど、積極的に地域美化に取り組んでおられます。

観光スポットなどもたくさんあり、県内外からたくさんの方が訪れる下関市。誰もが気持ちよく過ごせる、ゴミのない美しい場所としても知られるようになればいいなと思いました。

作業に参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。



のぼりで「道の日」を呼びかけます